

クロルフルアズロン水和剤 アタブロン SC	取扱メーカー： 石原、ホクサン 原体メーカー： 石原産業
成分： クロルフルアズロン〔IGR（キチン合成阻害剤）〕…10.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 訪花昆虫や天敵などの有用昆虫に影響がほとんどなく、果樹の害虫総合防除に適する。
- 作用は遅効的であるが、他剤が効きにくくなった害虫にも高い防除効果を示す。
- 浸透移行性はないが、高い殺虫活性と長い残効性で優れた防除効果を示す。
- 食毒性が主体の薬剤である。
- りんご、おうとうの混植園でも使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 花粉媒介昆虫への影響がないので、開花期のハマキムシ類やケムシ類の発生状況に合わせて次のように使用する。
 - 開花直前又は直後の1回散布
(害虫の発生が短期間の地域)
 - 開花直前及び直後の2回散布
(害虫の発生が長期間の地域)

- 遅効性の薬剤なので、できるだけ害虫が若齢幼虫の時期を狙い、早めの散布を行う。
- 適用対象外の病害虫が同時に発生している場合には、それらに有効な薬剤と混用で使用する。
- 植物体上での移行性がないので、茎葉部の表裏に均一に散布する。
- 散布液調製時には、使用直前に容器をよく振る。

【薬効・薬害等の注意】

- 幼虫の脱皮を阻害してやがて死亡させる性質をもつ（通常死亡まで7～10日程度）薬剤なので、幼虫期になるべく早く散布する。

【安全対策上の注意】

- 甲殻類に影響を及ぼすので注意。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びクロルフルアズロンを含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	ハマキムシ類	3000～4000倍	200～ 700 ℓ	7日前まで	4回以内	散布
	ケムシ類	4000～8000倍		21日前まで	2回以内	
なし おうとう	ハマキムシ類	3000倍		14日前まで	3回以内	
かき	ハマキムシ類 カキノヘタムシガ カキクダアザミウマ	4000倍		7日前まで	2回以内	
もも	ハマキムシ類			発生初期	4回以内	
ぶどう	ハスモンヨトウ					
樹木類	ケムシ類	4000～6000倍				